

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年3月29日(2007.3.29)

【公表番号】特表2006-519678(P2006-519678A)

【公表日】平成18年8月31日(2006.8.31)

【年通号数】公開・登録公報2006-034

【出願番号】特願2006-508950(P2006-508950)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/322 (2006.01)

A 6 1 F 2/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/322

A 6 1 F 2/10

【手続補正書】

【提出日】平成19年2月7日(2007.2.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

組織を移植用小片に処理する処理機と、上記処理機から処理された組織を取り出す組織摘出機を備え、上記組織摘出機がその末端において上記処理機に連結されている組織処理システム。

【請求項2】

ドナー部から組織サンプルを取り出すスライサーを備えた請求項1記載の組織処理システム。

【請求項3】

上記処理機が平行に配列された複数のブレードからなる請求項1記載の組織処理システム。

【請求項4】

上記各ブレード間にスペースを配して上記ブレードが調整可能に固定されている請求項3記載の組織処理システム。

【請求項5】

上記スペースが約250 μ m、約500 μ mおよび約1000 μ mからなる群から選ばれる請求項4記載の組織処理システム。

【請求項6】

上記スペースが約250 μ m～約1000 μ mの範囲内で調整可能な請求項4記載の組織処理システム。

【請求項7】

上記各ブレード間にスペースを配して上記ブレードが固定的に位置決めされている請求項3記載の組織処理システム。

【請求項8】

上記スペースが約250 μ mである請求項7記載の組織処理システム。

【請求項9】

上記スペースが約500 μ mである請求項7記載の組織処理システム。

【請求項10】

上記スペースが約 1 0 0 0 μ mである請求項 7 記載の組織処理システム。

【請求項 1 1】

上記組織摘出機が上記ブレード間に位置決めされた複数の糸からなる請求項 3 記載の組織処理システム。

【請求項 1 2】

上記糸が上記処理機の近傍端部に固定された請求項 1 1 記載の組織処理システム。

【請求項 1 3】

上記処理機から上記糸を持ち上げるためのハンドルとなっている少なくとも一端に、上記糸が固定されている請求項 1 1 記載の組織処理システム。

【請求項 1 4】

さらに、上記処理機による処理時に上記組織を支えるための切断台を備えた請求項 1 記載の組織処理システム。

【請求項 1 5】

ハウジング内に固定された平行配列の複数ブレードと、その末端において上記処理機に連結されている組織摘出機と、上記ブレードを上記ハウジング内で回転させる手段とからなる組織処理システム。

【請求項 1 6】

上記ブレードを回転させる手段が電気モータである請求項 1 5 記載の組織処理システム。

【請求項 1 7】

さらに、上記モータを作動させるスイッチを備えた請求項 1 6 記載の組織処理システム。

【請求項 1 8】

上記のブレードを回転させる手段が上記ブレードを 9 0 ° 回転させる請求項 1 5 記載の組織処理システム。

【請求項 1 9】

上記スイッチが上記処理機の方角転換によって作動する請求項 1 7 記載の組織処理システム。